

令和7年度 事業計画書(案)

1. 事業の概要

事業の名称	六郷東部地区地域交通試験運行Ⅱ事業（路線不定期運行）	
運営主体	名称	六郷東部地区地域交通検討会
	所在地	仙台市若林区
	代表者	会長 小野 吉信
	説明	六郷東部地区地域交通検討会は、地域の7つの町内会が中心となり、通学・通院・買物等の日常生活に不可欠な地域の足を確保し、地域の課題を解決できる様な地域交通の導入を目指し、乗合タクシーの事業運営のために設立した団体である。 定期的に役員が集まり、試験運行の実施や利用促進企画等について検討を行っている。
運行事業者	名称	株式会社キュットライフ
	所在地	仙台市若林区沖野7丁目39-60
	代表者	代表取締役 齋藤 稔
事業の概要	運行形態	乗合タクシー（路線不定期運行）
	運行開始	令和7年4月1日（令和8年3月31日まで）
	事業許可	道路運送法 第21条
	使用車両	特定大型乗用車（ワゴン 定員10名）1台（常用車） 小型乗用車（セダン 定員5名）2台（予備車）
	路線	1路線（登校時：三本塚長屋敷バス回転場～六郷小学校） （下校時：六郷小学校～長稱寺） 約24.7km（登校時：約11.2km、下校時：約13.5km） 【別紙1】路線図のとおり
	停留所数	登校時10箇所、下校時12箇所
	系統数	2系統
	運行時刻	【別紙2】時刻表のとおり。
	運行回数	平日5日 2回/日 ※土日、祝日及び六郷小学校休校日は運休
	利用人数	1,595人（令和6年9月～11月の実績より想定）
	運賃設定	・一般運賃（現金） 六郷東部地区内循環線（乗降ポイント⇄六郷小学校）、 一般運賃500円、小学生以下運賃150円 （小学生以下回数券：150円券10枚綴り1,500円） （小学生以下定期券：1ヶ月6,000円）
	収支計画	【別紙3】参照

運行する地域の概要	仙台市若林区六郷東部地区 約 700 世帯、人口約 1,700 人（令和 7 年 4 月時点）			
主な利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の通学時・下校時の利用 ・その他の通院及び買い物の利用 			
これまでの経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年 4 月 六郷東部地区地域交通検討会設立 ・令和 6 年 9 月 試験運行Ⅰ開始（令和 7 年 3 月末まで） ・令和 7 年 4 月 試験運行Ⅱ開始（令和 8 年 3 月末まで） 			
地域における協議・検討の状況	令和 5 年 4 月以降、六郷東部地区にあった交通の検討を進め、令和 7 年 6 月 17 日開催の検討会において、六郷東部地区地域交通試験運行Ⅱ事業の運行内容を変更することを決定した。			
事前確認事項	令和 7 年 7 月 10 日	宮城県タクシー協会	事前協議	支障なし
	令和 7 年 7 月 15 日	国土交通省東北運輸局宮城運輸支局	事前協議	支障なし
	令和 7 年 7 月 15 日	仙台市交通局	事前協議	支障なし
	令和 7 年 7 月 22 日	交通管理者 (宮城県警察本部交通規制課)	事前協議	支障なし
	令和 7 年 7 月 22 日	道路管理者(若林区道路課)	事前協議	支障なし
	令和 7 年 7 月 14 日	宮城交通株式会社	情報提供	

運行時刻表（路線不定期運行）

登校時

下校時（下記のA、B、C、Dのいずれか1便が運行）

	ダイヤ	ダイヤA ※給食なしの場合 終業時刻 12:15	ダイヤB ※給食までの場合 終業時刻 13:10	ダイヤC ※5校時目までの場合 終業時刻 14:15	ダイヤD ※6校時目までの場合 終業時刻 15:05
六郷小学校	—	12:45	13:40	14:45	15:35
六郷児童館	—	12:52	13:47	14:52	15:42
芳賀商店	—	12:57	13:52	14:57	15:47
三本塚長屋敷バス回転場	7:36	12:59	13:54	14:59	15:49
赤沼バス停付近	7:38	13:01	13:56	15:01	15:51
三本塚公会堂	7:40	13:03	13:58	15:03	15:53
東六郷コミュニティ・センター	7:43	13:06	14:01	15:06	15:56
(有)小野カエ務店	7:46	13:09	14:04	15:09	15:59
新興住宅地	7:48	13:11	14:06	15:11	16:01
竹野花バス停付近	7:50	13:13	14:08	15:13	16:03
つかさ製茶	7:54	13:17	14:12	15:17	16:07
長稱寺	7:57	13:20	14:15	15:20	16:10
六郷小学校	8:00	—	—	—	—

※土日、祝日及び六郷小学校休校日は運休。

※道路状況により、到着時間が遅れる可能性がある。

（参考）＜下校時における曜日毎の運行ダイヤについて＞

六郷小学校の各学年の時間割を参考に、曜日ごとの基本ダイヤを下表のとおり設定。

通常の時間割から変更となる場合（例えば全校4時限の日など）については、基本のダイヤから変更する。

【曜日毎の基本ダイヤ】

	月	火	水	木	金
下校時の 基本ダイヤ	ダイヤC (14:45発)	ダイヤD (15:35発)	ダイヤC (14:45発)	ダイヤD (15:35発)	ダイヤD (15:35発)
(参考) 六郷小の時間割	全学年5時限	1年:5時限 2年:5または6時限 3~6年:6時限	全学年5時限	1、2年:5時限 3~6年:6時限	1~3年:5時限 4~6年:6時限

令和7年度 六郷東部地区地域交通試験運行Ⅱ事業(路線不定期運行) 収支計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
運賃収入	一般運賃：現金	500	0	0	<p>■試験運行Ⅱの利用想定</p> <p>①現状利用の維持 R6.9～11の実績での利用人数は今後も利用すると想定 利用回数7.0人/日(登校便5.4人+下校便1.6人) *運行日数201日=1,407人</p> <p>②下校便30分前倒しによる利用想定 くろしおのアンケート結果から、「下校便のダイヤが遅い」と回答した方が17.4% 登校便利用者5.4人のうち、17.4%の方が、下校便のダイヤを30分前倒しで、新たに下校便を利用すると想定 5.4人*17.4%*運行日数201日=188人</p> <p>結果、①+②=1,595人の利用を想定</p> <p>③定期券の利用 利用者のうち、少なくとも5人(小野力1、新興住宅4)が5ヶ月間定期券(通学支援を想定)を利用すると想定。 5人*5ヶ月*6,000円/月=150,000円 一方で、定期券利用者の現金利用がなくなるため、上記1,595人のうち、下半期(5ヶ月)の利用において、半数が定期券での利用に切り替わったと想定。 1,595人*5/12*0.5≒332人</p> <p>結果、1,595人-332人=1,263人の現金利用を想定</p>
	小学生以下運賃：現金	150	1,263	189,450	
	小学生以下運賃：回数券(単位：冊)	1,500	0	0	
	小学生以下運賃：定期券(単位：月)	6,000	25	150,000	
小計			339,450	…①	

補助金	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助	5,047,350	
小計		5,047,350	

合計	5,386,800
----	-----------

支出					
項目	単価	数量	金額	備考	
運行経費	運行委託料 通常便	13,400	402	5,386,800	・R7年度の開校日を基に運行本数を想定 運行便数：201日×2便(往復)
	運行委託料 追走便	6,700	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
小計			5,386,800	…②	

合計	5,386,800
----	-----------

収支率(運賃収入/運行経費)	6.3%	…①/②
----------------	------	------

令和7年度 六郷東部地区地域交通試験運行Ⅱ事業(区域運行・路線不定期運行) 収支計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

収入					
項目	運賃	利用人数	合計	備考	
運賃収入 ・区域運行 ・沖野方面	一般運賃：現金	500	0	0	・R6.9～11の実績より想定 ・利用人数3.5人/日*運行日数142日=497人 広報、周知による利用者増加見込み15% 571人 (坪沼、生田地区R4～R5稼働台数上昇率の平均)
	高齢者等運賃：現金	100	571	57,100	
	高齢者等運賃：現金 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	571	228,400	
	高齢者等運賃：回数券 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	0	0	
	一般運賃：回数券(単位：冊)	0	0	0	
	高齢者等：回数券(単位：冊)	0	0	0	
運賃収入 ・区域運行 ・七郷方面	一般運賃：現金	600	0	0	・R6.9～11の実績より想定 ・利用人数1.7人/日*運行日数49日=83人
	高齢者等運賃：現金	200	83	16,600	
	高齢者等運賃：現金 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	83	33,200	
	高齢者等運賃：回数券 (元気乗り乗り割引運賃への市補助)	400	0	0	
	一般運賃：回数券(単位：冊)	0	0	0	
	高齢者等：回数券(単位：冊)	0	0	0	
運賃収入 ・路線不定期	一般運賃：現金	500	0	0	■試験運行Ⅱの利用想定 ①現状利用の維持 R6.9～11の実績での利用人数は今後も利用すると想定 利用回数7.0人/日(登校便5.4人+下校便1.6人) *運行日数201日=1,407人 ②下校便30分前倒しによる利用想定 くるしおのアンケート結果から、「下校便のダイヤが遅い」と回答した方が17.4% 登校便利用者5.4人のうち、17.4%の方が、下校便のダイヤを30分前倒しで、新たに下校便を利用すると想定 5.4人*17.4%*運行日数201日=188人 結果、①+②=1,595人の利用を想定 ③定期券の利用 利用者のうち、少なくとも5人(小野力1、新興住宅4)が5ヶ月間定期券(通学支援を想定)を利用すると想定。 5人*5ヶ月*6,000円/月=150,000円 一方で、定期券利用者の現金利用がなくなるため、上記1,595人のうち、下半期(5ヶ月)の利用において、半数が定期券での利用に切り替わったと想定。 1,595人*5/12*0.5=332人 結果、1,595人-332人=1,263人の現金利用を想定
	小学生以下運賃：現金	150	1,263	189,450	
	小学生以下運賃：回数券(単位：冊)	1,500	0	0	
	小学生以下運賃：定期券(単位：月)	6,000	25	150,000	
小計			674,750	…①	
補助金 ・区域運行	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		1,689,700		
補助金 ・路線不定期	地域交通乗り乗り事業に基づく運行経費の補助		5,047,350		
小計			6,737,050		
補助金	地域交通乗り乗り事業に基づくその他経費の補助(広報啓発費)		300,000	※初期費用に対する市の補助(上限30万円で実費分)	
小計			300,000		
合計			7,711,800		

支出					
項目		単価	数量	金額	備考
運行経費 ・区域運行 ・沖野方面	運行委託料 通常便	5,200	331	1,721,200	・R6.9～11の実績より想定 運行便数： $(71\text{便} \div 35\text{日}) \times 142\text{日} \div 288\text{便}$ 周知・広報による稼働台数増加見込み15%を想定 331便 (坪沼、生田地区R4～R5稼働率上昇の平均)
	運行委託料 追走便	5,200	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
運行経費 ・区域運行 ・七郷方面	運行委託料 通常便	6,200	49	303,800	・R6.9～11の実績より想定 運行便数： $(71\text{便} \div 35\text{日}) \times 49\text{日} \times (3/6\text{便}) \div 49\text{便}$
	運行委託料 追走便	6,200	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
運行経費 ・路線不定期	運行委託料 通常便	13,400	402	5,386,800	・R7年度の開校日を基に運行本数を想定 運行便数： $201\text{日} \times 2\text{便}$ (往復)
	運行委託料 追走便	6,700	0	0	・基本は、通常便のみでの運行を想定
小計				7,411,800	…②
その他の経費	一式 (リーフレット・ポスター等作成)	300,000	1	300,000	・広報啓発費等
小計				300,000	
合計				7,711,800	

収支率(運賃収入/運行経費) 9.1% …①/②